

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	光干渉断層撮影(OCT)によって同定された急性心筋梗塞患者の冠動脈ステント内のirregular protrusionの臨床的意義に関する研究		
2. 対象患者	急性心筋梗塞を発症し当院に搬送され経皮的冠動脈形成術(PCI)を行い、その際にOCTで心臓の血管を観察できた患者様を対象とします。		
3. 対象となる期間	2014年 1月 ~ 2018年 3月		
4. 実施診療科等	循環器内科		
5. 研究責任者	氏名	加藤 朋	所属 循環器腎臓内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし		
7. 研究の意義	最近の研究では、経皮的冠動脈形成術(PCI)の際にOCTで観察されたirregular protrusion(ステントの隙間から突出したプラーク)が予後と関係しているとの報告がありますが、急性心筋梗塞を発症した患者様に関してはわかっていません。急性心筋梗塞においてPCI術後の心血管イベント(死亡や心筋梗塞、ステント血栓症、脳卒中、再治療の有無、心不全入院など)とirregular protrusionの関係性やirregular protrusionそのものの予測因子を明らかにすることで、今後の診療に生かすことができます。		
8. 研究の目的	急性心筋梗塞を発症した患者様におけるデバイス関連臨床評価項目やirregular protrusion(プラークの突出)の予測因子を同定することを目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	冠動脈造影所見、OCT、患者様が入院に至った背景などの情報を解析します。		
10. 個人情報の保護	当該研究は対象となる患者様のカルテから抽出した情報を用いますが、氏名・住所・電話番号等個人を特定できる情報は利用しません。学会発表や論文文化の際も、個人が特定できない形での使用となります。対象者から拒否の申し出があった場合、当該患者様のデータは使用しません。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文投稿等の成果が公表されていた場合は、その結果を修正することはできません。		
11. 利益相反に関する状況	研究代表者の所属講座の代表者は、PCIで用いられる医療器具の製造・販売を行っているアボットバスキュラージャパン(株)からの寄付金により設置されている寄付講座に所属しており、利益相反状態にあります。しかしながら本研究は公益性が高く、研究は循環器腎臓内科学講座の研究費を用いて、同講座の研究グループにより公正に行われます。		
12. 連絡先	弘前大学医学研究科 循環器腎臓内科学講座 加藤 朋		
	電話	0172-39-5057	FAX 0172-35-9190